

2008 幾徳



『祭魂』

11月8、9日に今回で第33回を迎えた本学の一大イベント、幾徳祭が開催された。準備期間から開催、後片付けまでを入れると全7日間にも及ぶ過密スケジュールだった。今回も部活やサークル、研究室が展示や模擬店を出し、来場者を楽しませていた。

文化系の部活動は、主に1年間の成果を披露する展示会を開く。航空研究部では、10月に行われた「全日本室内学生飛行ロボットコンテスト」に出場した機体と表彰状を展示（9ページを参照）。写真部ではモノクロ写真の展示と趣のある空間を演出した。展示では、それぞれ部の特徴が一目で分かるものばかりであった。

模擬店ではお好み焼きや、たこ焼きといった定番のものから、クレープやスープといった軽食までさまざま。また、落書きせんべいや金魚すくい、洋弓部のアーチェリー体験、学園祭実行委員会が企画したイベントなどもあった。学生だけでなく、来場してきた方々も、楽しい時間が過ごせるイベントとなった。

今回は天候が危ぶまれた幾徳祭だったが、その心配は杞憂に終わった。今年度の幾徳祭テーマは「祭魂」。KAIT生には、いつだって盛り上げる祭魂がある。天候など問題ではなく、例年以上の盛り上がりを見せた。

(村上智一)



左上から順
航空研究部
柔道部の焼き鳥
利き酒大会

右上から順
硬式庭球部のたい焼き
写真部の展示
洋弓部のアーチェリー体験
チアリーディング部
陸上競技部の落書きせんべい